

あと一步の向上に向けた取組

函館市立上湯川小学校

生活習慣・学習習慣の形成	基礎的・基本的な知識・技能の習得	望ましい学習態度の育成	学校組織・指導体制の改善
--------------	------------------	-------------	--------------

1 学力向上の具体的な方策

(1) 「算数」学習の個別指導 ～(T T指導、少人数指導、習熟度別指導)

～児童一人一人の理解を深めるための「個に応じた指導」に取り組みます。

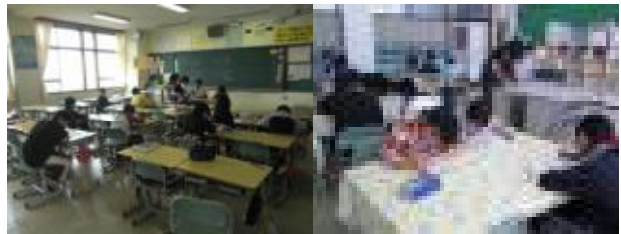
(2) 「算数教材」の開発

～手作りの「算数教材」を活用して、分かりやすい授業の指導に努めます。

2 取組の概要

(1) ① 「少人数コース」の例

学級児童を2つの少人数グループに分けて、担任とT T教諭の2人が「教室」と「T Tルーム」でそれぞれきめ細かな学習指導をします。(右の写真参照)



教室(授業者:学級担任)

T Tルーム(授業者:T T)

② 「習熟度別コース」(児童の選択希望も加味して)の例

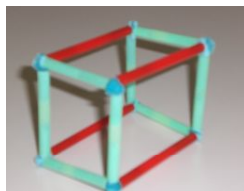
事前のミニテストによって、学級児童一人一人の問題解決力や学習理解力を把握します。その理解度の傾向や個人の希望等によって、2～3つのグループに分け、個に応じた学習指導をします。(下の〔例〕を参照)

学習後は、再度ミニテストを実施して理解の定着を確認します。

〔例〕・「じっくりコース」 ・「てくてくコース」 ・「すいすいコース」等

(2) 「手作りの算数教材」の例

学習教材の工夫と活用は、児童の学習理解を助けます。「わかる授業」づくりに向けて、教材の開発に努めています。



ストローとモールの模型

図形の辺や頂点の数、垂直と平行等を学ぶ学習教材



面や辺の関係を学ぶ立体

合同な面、同じ長さの辺を色分けした立体教材



色分け紙時計

赤色の短針と青色の長針用の目盛を色分けした紙時計

3 成果(○)と課題(●)

○個々の児童の学習状況が把握しやすくなり、各児童への適切なアドバイスができ、学習の理解が高まった。教材の工夫と活用は、学習がわかりやすく効果的であった。

●取組には様々な打合せと準備が必要であり、その時間を確保することが難しい。